

- 1 教育事業名 平成 24 年度「教員免許状更新講習」  
～ 自然体験活動から子どもの生きる力を ～
- 2 期 日 平成 24 年 8 月 15 日（水）～ 17 日（金） 2 泊 3 日
- 3 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 4 募集定員 25 名
- 5 参加人数 34 名
- 6 参加者内訳 地域別: 沖縄県 29 名 神奈川県 3 名 埼玉県 1 名 愛知県 1 名  
校種別: 小学校 9 名 中学校 3 名 高等学校 19 名 特別支援学校 3 名
- 7 講 師 山里 望氏（那覇市立松島中学校校長）講義「学校教育の現状と課題」  
平野 貴也氏（名桜大学人間健康科学部スポーツ健康学科准教授）  
講義「体験活動の意義と学習指導要領」  
北見 靖直氏（国立青少年教育振興機構指導主幹）  
講義・実習「体験学習の指導法①-④」  
島村 賢正氏（元沖縄県立高等学校校長）実習「体験活動の指導法⑤」
- 8 実施プログラム
  - 1 日目 8 月 15 日(水)
    - 11:45～12:00 開講式
    - 13:00～15:00 講義「教育の現状と課題」
    - 15:00～17:00 講義「体験活動の意義と学習指導要領」
    - 19:00～21:00 実習体験活動の指導法①「学校で活用できるレクリエーション」
  - 2 日目 8 月 16 日(木)
    - 9:00～10:30 講義 体験活動の指導法②「セーフティトークの重要性」
    - 11:00～16:00 実習 体験活動の指導法③「野外炊事・マリン活動における  
セーフティトークの研究と実践」
    - 19:00～21:00 実習 体験活動の指導法④「整理の方法」
  - 3 日目 8 月 17 日(金)
    - 9:00～12:00 実習 体験活動の指導法⑤「子どもたちがワクワクする  
自然観察の方法」
    - 13:15～14:15 履修認定試験
    - 14:30～14:45 閉講式

## 9 事業の様子



各学校の課題を話し合う



大型カヌーでウミガメを探す



最初に身体と心をほぐしました



オリエンテーション実践です



みんなでカレーいただきます

## 10 参加者の声

- ・体験して学ぶことの大切さを身をもって感じる事ができ、良いと思ったことを子どもたちに伝えたいと思いました。自然体験活動は小学生に有効率が高いということもありましたが、いつになっても体験することは楽しいし、身に付くと感じた3日間でした。
- ・人の出会いのすばらしさ。仲間がいることの大切さに気づくことができました。3日間の研修で感じたチームワークの大切さは実践に活かします。日々の授業改善に「チャレンジ」です。
- ・自然と触れ合うことで、自分自身も成長できると思います。みんなの笑顔、仲間がいることの心地よさ、教師としてどうあるべきか、また見つめ直せた気がします。

## 11 担当者所見

本年度から教員免許状更新に必要な選択領域 18 時間の講習を 2 泊 3 日で実施した。「体験活動から子どもの生きる力を」のテーマのもと、渡嘉敷島の自然の中での体験活動をふんだんに取り入れたプログラム構成となるよう配慮した。

受講者は、今回の講義・実習の中で体験活動の意義や理論を学び実際に経験することによって、「体験活動」の重要性について、大きく理解が深まったものと思われる。愛と情熱のつまった北見指導主幹の「体験活動の指導法」では自己紹介からチームビルディングへと実習が進むにつれて、受講者の意欲の高まりが感じられた。夏休み明けに子どもたちに会うのが楽しみになったという意見も出る有意義な講習会となった。

今回の講習で学んだ「体験活動」を、それぞれの受講者が実際の教育現場で活かしてくれることを願う。